

# 青年農業者の経営発展に向けて

## ～青年農業者等スキルアップ研修を開催～

### 1 活動のねらい

千葉地域で主体的に農業に参画する青年農業者の営農確立を支援するため、農業経営体育成セミナー修了者や新規参入者を対象に青年農業者等スキルアップ研修を開催し、営農に必要な能力の向上や、営農に関する相談ができる人脈づくりを支援しました。

### 2 課題の背景

千葉地域では新規就農者のうち新規参入者が占める割合が大きく、多くの新規参入者が農業経営体育成セミナーを受講しています。しかし、地域に青年農業者の組織がないことや、農業経営体育成セミナー修了後は自身の経営に専念する必要があることなどから、農業事務所や周囲の農業者との関係が希薄になってしまう場合があります。新規就農者が地域に定着し、営農を確立していくために、情報交換できる人脈づくりや、知識を習得する機会を増やすことが課題となっていました。

### 3 普及活動の経過・結果

#### (1) 講義・演習の開催

研修では、特に経営に関する内容について講義や演習を行いました。

新規就農者が経営でつまづく可能性があるポイントを一覧にしたチェックリストを紹介し、実際にチェックリストに記入することで、自身の経営のリスクを確認しました。

また、新規参入で課題となりやすい労働力の確保について、講師として社会保険労務士を迎え、雇用を導入する際に必要な準備や労務管理で押さえておくべき注意点について講義を行いました。既に雇用を活用している研修生もいましたが、有給休暇の設定方法や、従業員のモチベーションを上げる方法などについて参考となる研修でした。

#### (2) 事例紹介・視察の開催

研修生から、自身の経営で実践していることや意識していることなどについて紹介してもらい、意見交換を行いました。

加工業者との契約販売を行っている研修生からは、契約の際に重要な原価計算や販売価格の決定、販売先の選び方などを紹介してもらい、実際に加工用野菜を生産しているほ場



写真1 研修生による事例紹介と意見交換

を見学しました。他の研修生は、価格設定の重要性や、相手の利益も考えた交渉方法、求められる品質に合わせた効率的な生産方法に関心を示していました。

また、配偶者の就農に際して経営方針の見直しを行った研修生からは、JAと相談して生産計画を作成した経験や、税理士の活用について紹介してもらいました。意見交換では、農地貸借の方法など様々なことについて相互に情報交換を行いました。研修終了後も継続して話し合う姿が見られるなど、研修生同士の仲間づくりにも役立っていました。

### (3) 優良事例視察の開催

先進農業者の経営に対する考え方や実践状況を学ぶため、県内の視察研修を行いました。視察先の経営体は、露地野菜生産を拡大しながら、カット野菜やスイーツの開発、直営店での販売などの多角化を図っており、代表者から、経営を行う上で重視していることや、企業や地域の農業者、関係機関と連携して多角化を行ってきた経緯などについて伺いました。



写真2 優良事例への視察で  
経営者の考え方を直接学ぶ

研修生は、「雇用の面接で見ているポイントはあるか」など、次々と質問を行い、前向きに経営を発展させる姿勢に刺激を受けていました。

## 4 今後の課題

研修では、経営を行う上での考え方や販売方法など、研修生相互での有意義な情報交換が行われていますが、経営の柱として農作業を優先するため、研修への出席を見合わせる研修生が多く見られました。

経営確立に役立つ研修テーマを設定したり、研修生の求める内容や、出席しやすい時期の聞き取りを行ったりすることで、より多くの研修生が参加し、経営確立に役立つ知識習得や意見交換ができるよう支援していきます。

5 担当者 千葉・習志野グループ 柏崎 佑二

6 協力機関 千葉地域農林業振興普及協議会